

三原だるまを作ろう

時 4月29日、5月3日を除く4月・5月の月・水曜日13時～16時、土曜日10時～13時
 所 甲・園 うきしろロビー(城町一丁目) 兼用 0848-67-5877)
 定 各10人(要申し込み)
 料 600円



高齢者向け運動機器の5～9月利用者を募集します

所 本郷保健福祉センター
 内 運動機器を利用した介護予防トレーニング
 対 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の人
 定 各時間帯5人
 ※申し込み多数の場合は抽選。
 申 4月10日(月)までに専用申し込みフォームからまたは高齢者福祉課(TEL 0848-67-6055 FAX 0848-64-2130)へ

時間	日時(開始日)
①9:30～10:10	毎週火曜日 (5月2日から)
②10:10～10:50	
③10:50～11:30	
④9:30～10:10	毎週金曜日 (5月12日から)
⑤10:10～10:50	
⑥10:50～11:30	

※新規利用者と1年以上利用していない人は事前講習会への参加が必要です。4月14日(金)・21日(金)・28日(金)の10時から12時に行う事前講習会を受講してください。



↑専用申し込みフォーム

男性の料理教室

時 20日(木)10時～13時
 所 サン・シープラザ3階
 対 65歳以上で一人暮らし、または介護をしている男性
 定 20人(要申し込み)
 料 300円
 申 13日(木)までに社会福祉協議会(TEL 0848-63-0570)へ

2023三原ミスやっさオーディション参加者を募集

対 次の全てを満たす人
 ①市内在勤・在学または在住の18歳以上(高校生は除く)②観光アシスタントとして三原市をPRできる③活動について勤務先の了承を得ることができる
 申 21日(金)(必着)までに三原やっさ祭りHPから応募用紙を提出
 園 三原やっさ祭り実行委員会(商工会議所内) TEL 0848-62-6155)

第32回三原さつき祭り さつきステージ出演者を募集

時 5月27日(土)10時～17時・28日(日)10時～16時(予定)※出演時間は準備・撤収含む20分程度。
 申 4月14日(金)(必着)までに郵送、ファクスまたは祭り公式LINEで必須事項(団体名、出演内容、出演人数、出場希望日時(午前または午後)、担当者名、連絡先、活動拠点)を記入し、三原さつき祭り振興協議会事務局へ。※応募多数の場合は出場者や出演時間を選別・調整し、結果を4月下旬に通知します。
 園 三原さつき祭り振興協議会事務局(〒723-8555 皆実四丁目8番1号三原商工会議所内) TEL 0848-62-6155 FAX 0848-62-5900)



↑公式LINE

三原やっさ踊り振興協議会 公開踊り練習

時 11日(火)18時30分～19時30分
 所 ペアシティ三原西館2階
 園 観光課(TEL 0848-67-6015 FAX 0848-64-4103)
 ※見学・踊りの参加自由。



「三原市地域スポーツ活動」参加者募集

対 中学生
 【種目】5種目(水泳、バドミントン、男子バレーボール、女子ソフトボール、サッカー)
 ※開催日・開催場所・費用など詳しくは市HPで確認してください。
 申 23日(日)までに市HP掲載の種目ごとの申込先から(要申し込み)
 園 スポーツ振興課(TEL 0848-64-7219)



↑市HP

キオラスクエア広場を利用してみませんか

キオラスクエア広場は、JR三原駅前にあるにぎわいや憩いの場所です。飲食店イベント、祭り会場、キッチンカー出店など、さまざまな目的で活用できます。
 申 利用希望日の1カ月前まで
 ※テントなどの備品の貸し出しもしています。

【出店例】

時 11時～15時
 エリア 1区画(3×6m)
 電源 最大4000w利用可能
 使用料金 1,200円(税込)

【内訳】

1区画50円/時間×4時間=200円
 電気使用量 500円
 申請料 500円
 ※詳しくはHPで確認してください。



↑公式HP

園 広場運営者(株)KOTOYA(TEL 050-5490-8337)



人権ひろば

今月のテーマ

子どもの人権

・子育て支援課・

園 子育て支援課(TEL 0848-67-6045)

市HP



ヤングケアラーを知っていますか

ヤングケアラーとは、「18歳未満の子どもで、本来は大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行なっていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる」ケースを指します。

令和4年に中高生を対象に市が実施したヤングケアラーに関するアンケート

トでは、「世話をしている家族がいる」と回答した中学生が6.3%、高校生は4.2%おり、ヤングケアラーの疑いがある生徒がいることが分かりました。必要な支援につなげるためには、周囲の大人がヤングケアラーについて理解を深め、家庭において子どもが担っている家事や家族のケアの負担に気付くことが重要です。

人権標語 きこえてる? 言われた相手の 心の声 (小学6年生)